

皮膚科

研修指導者名

金蔵 拓郎

メッセージ

鹿児島大学皮膚科では皮膚疾患に対して医学的・科学的にアプローチする姿勢を大切にしています。「赤くて痒いできものができた」とおっしゃる患者さんにステロイド軟膏を処方する。これは臨床医の仕事として間違っていない。しかしそれだけでは物足りません。「なぜ赤くて痒いできものができたのか」と常にその原因を追及することが必要です。原因を追及することが治療にもつながります。これが医学的・科学的なアプローチであって、そのためには基礎医学的な知識と思考能力が求められます。私たちは患者さんのため、「医学的アプローチに基づく診療」の質を高めるべく日々努力を続けています。

鹿児島大学皮膚科は女性医師が働きやすい教室、永く医学の勉強を続けられる教室を目指しています。全国的に女性医師が増えていますが特に皮膚科ではその傾向が顕著です。皮膚という目に見えるデリケートな臓器を対象とする皮膚科は、繊細な女性医師が大いに力を発揮できる診療科です。女性医師が皮膚科学を学ぶのは正に適材適所であると言えます。今、鹿児島大学皮膚科の教室員の約半数が女性です。しかし女性が医師の仕事をするには様々な問題が立ちふさがることも事実です。鹿児島大学皮膚科では医局員全員で話し合いながら、女性医師が働き勉強する環境を整えています。

このように鹿児島大学皮膚科は、医学の高い目標を掲げ、女性医師の積極的な参加を得ながら、診療・教育・研究に邁進しています。

研修目標

皮膚科学は内科的側面と外科的側面を併せ持つ総合医療であり、高い専門性が要求される。後期研修では皮膚科医療のプロフェッショナルとして個々の症例に応じた適切な診療を行える医師となることを目標とする。目標達成のために必要な具体的な事項を以下に示す。

- 1) 皮膚疾患の診断上必要な皮膚の構造、機能および病態生理の知識を有する。
- 2) 各種皮膚疾患全般を正確に診断するために必要な各論的知識を有する。
- 3) 症候学、発疹学、皮膚病理組織学、皮膚科検査法を熟知している。
- 4) 各種皮膚疾患の標準的治療法を理解し、薬物療法、処置、手術の技能を駆使して適切な診療を行える。
- 5) 医療面接技能と患者を含めたチーム医療実戦能力を有する。
- 6) 医療人として必要な高い社会的倫理観を有する。

研修可能技能

- 検査：① プリック・スクラッチテスト ② 貼付試験（パッチテスト） ③ 光線過敏検査
④ ダーモスコピー ⑤ 超音波エコー検査 ⑥ 皮膚生検 ⑦ 病理診断
⑧ 細胞診（Tzanck test） ⑨ 真菌・疥癬の直接鏡検 ⑩ 真菌培養
- 治療：① 外用療法 ② 紫外線療法 ③ レーザー療法 ④ 凍結療法 ⑤ 化学療法
⑥ 皮膚外科（手術療法） ⑦ ケミカルピーリング



取得できる専門医資格技能

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医

研修参加条件

卒後臨床研修修了者

研修施設

専門研修基幹施設（鹿児島大学病院）、専門研修連携施設（鹿児島市立病院、今村病院分院、国立療養所奄美和光園）が主な研修施設である。他科あるいは他院での研修も希望に沿って実施できるよう可能な限り配慮する。

研修期間

専門医取得に必要な研修期間は日本皮膚科学会入会后五年以上である。最低一年間は専門研修基幹施設（鹿児島大学病院）で研修を受けなければならない。

研修病院の症例実績

年	2010	2011	2012	2013	2014
外来患者総数(一日平均)	14,613(60.1)	12,274(50.3)	11,052(45.1)	11,820(48.4)	11,590(47.5)
入院患者者総数(一日平均)	8,571(23.5)	7,524(20.6)	7,451(20.4)	6,473(17.7)	6,621(18.1)
手術総数	365	303	304	366	286

現在研修中の医師数

	大学内(うち大学院生の数)		大学外
卒後3年目	2	(0)	0
卒後4年目	1	(0)	0
卒後5年目	2	(0)	0

プログラムの募集人員及び選考

【募集人員】 制限なし

【選 考】 面 接

研修と大学院の関係

後期臨床研修の期間中に大学院博士課程に進学することも可能である。大学院進学者も研究と並行して皮膚科研修を行うことができる。皮膚科以外の講座あるいは研究所等で皮膚科領域に関する研究に従事する場合は、二年間を限度に皮膚科研修期間と認める。

処 遇

原則として大学病院の医員としての待遇

研修終了後の進路

皮膚科専門医取得後、学内で指導医として臨床、研究、教育を行う。
開業医や地域関連病院の常勤医として地域医療に貢献する。

指導医・専門医

日本皮膚科学会認定皮膚科専門医：9名

プログラムに関する問い合わせ窓口

鹿児島大学皮膚科

〒890-8520 鹿児島市桜ヶ丘8丁目35番1号

電話：099-275-5388

FAX：099-275-1134

E-mail:derma@m3.kufm.kagoshima-u.ac.jp

